

日本イコモス

記者会見 参考資料

建国記念文庫の森

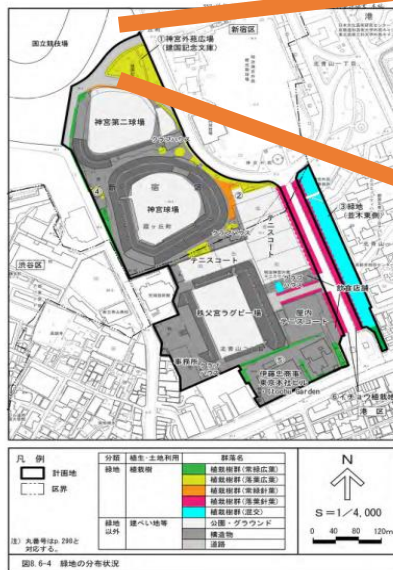
2024年 9月24日

森林生態系を知るには、全体像をみる必要がある。
環境アセスにおいては科学的基礎調査が必須。

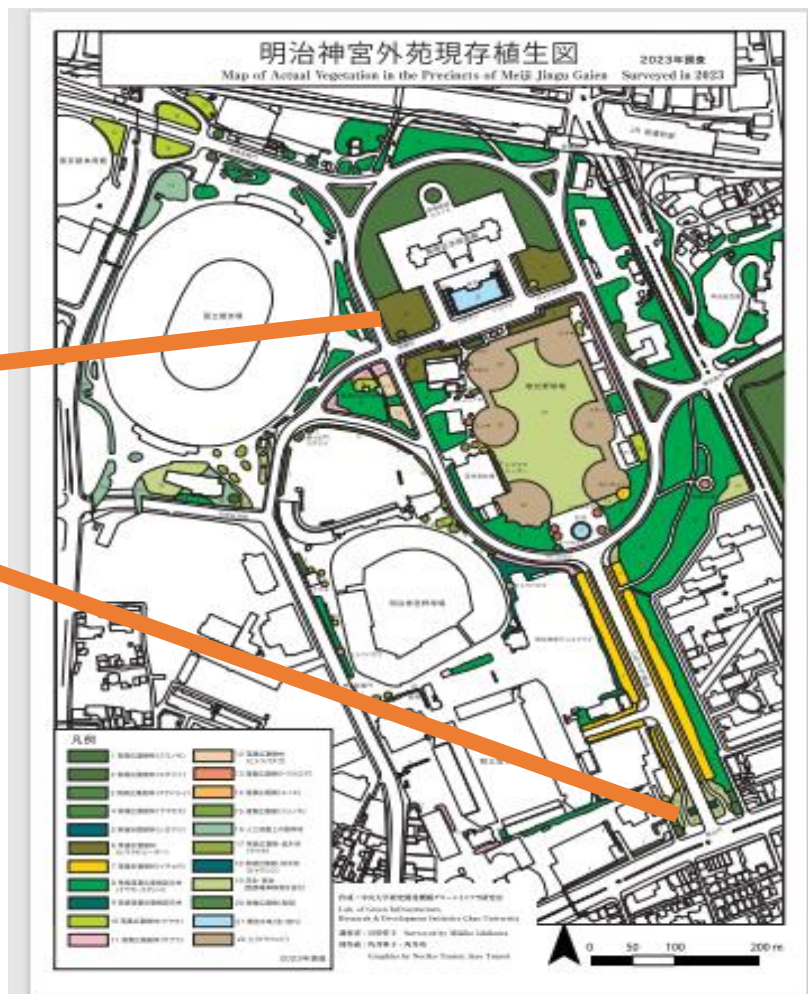
全体像（現存植生図）は
全く調査されていない。
植物社会学の調査手法に基本的誤り

開発による環境の変化に
甚大な影響を与える

環境アセスの再審
必須



現地現況図（事業者）



相観による現存植生図（日本イコモス）

それでは、どのような影響が生じるのか？

以下、群落ごとに説明を簡単に行い、「森が破壊されるにいたっている内容」を具体的に御説明いたします。

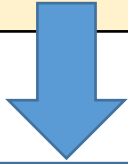


図4 事業者の分類 (1つの群落)



図5 日本イコモスの分類 (4つの群落)

間違いだらけの 群落調査表（一例）



日本イコモス
2023年1月に指摘



事業者 回答において避ける
言及せず（2023年4, 5月）
環境アセス審議会 検証せず。



公明正大であるべき東京都環境ア
セス審議会において再審は必須

群落名が不適切



表 2.4-20 (2) 植物群落調査結果（神宮外苑広場（建国記念文庫）南側）

| | | |
|-----------------|----------------|--------------|
| 群落名: 雑樹林群 (ケヤキ) | 調査日: 2022/6/29 | 北側の誤り |
| 地形: 平坦 | 風当: 中 | コドラートの面積が不適切 |
| 土壌: 人工土 | 日照: 中陰 | |
| 標高: 38m | 土質: 適 | 面積: 15×30m |

| 階層構造 | 優占種 | 高さ(m) | 植被率(%) | 備考 |
|---------|--------|---------|--------|----|
| T1 基木層 | ケヤキ | 14 ~ 20 | 70% | |
| T2 亜高木層 | スダジイ | 2 ~ 14 | 50% | |
| S 低木層 | ヤブツバキ | 0.2 ~ 2 | 10% | |
| | | | % | |
| H 草本層 | ケチヂミザサ | 0 ~ 0.2 | 50% | |
| | | | % | |

| 階層 | D-S | 種名 | 階層 | D-S | 種名 | 階層 | D-S | 種名 |
|----|-----|---------|----|-----|---------|----|-----|------------|
| T1 | 3-3 | ケヤキ | S | 1-1 | ヤブツバキ | H | 2-2 | ケチヂミザサ |
| T1 | 2-2 | クスギ | S | 1-1 | サンゴジュ | H | 2-2 | ヘクソカズラ |
| T1 | 1-1 | クスノキ | S | + | ナンテン | S | 1-2 | ドクダミ |
| T1 | 1-1 | トウカエデ | S | + | トウネズミモチ | H | 1-2 | ジャノヒゲ |
| T1 | 1-1 | シラカシ | S | + | ヒサカキ | H | 1-2 | タサイチゴ |
| T1 | 1-1 | シラカシ | S | + | ドウダンツツジ | H | 1-1 | ハスカサ |
| | | | S | + | イヌツゲ | S | 1-1 | オオバコ |
| | | | S | + | マザキ | H | 1-1 | カタバシ |
| | | | | | | H | 1-1 | ガシクビソウ |
| | | | | | | H | 1-1 | ヘビイチゴ |
| | | | | | | H | 1-1 | イヌワラビ |
| T2 | 3-3 | スダジイ | | | | H | 2 | シラカシ |
| T2 | 1-1 | アカマツ | | | | H | + | エノキ |
| T2 | 1-1 | クスノキ | | | | H | + | キツク |
| T2 | 1-1 | オオシマザクラ | | | | H | + | ムクノキ |
| T2 | 1-1 | タブノキ | | | | H | + | コスミレ |
| T2 | 1-1 | ケヤキ | | | | H | + | タチツボスミレ |
| T2 | + | トウネズミモチ | | | | H | + | クヌギ |
| | | | | | | H | + | ヤブカラシ |
| | | | | | | H | + | セイタカアワダチソウ |
| | | | | | | H | + | ヒコドリジュウゴ |
| | | | | | | H | + | カヅノキ |
| | | | | | | H | + | クスノキ |
| | | | | | | H | + | キカラスウリ |
| | | | | | | H | + | コナスビ |
| | | | | | | H | + | ヒメムカシヨモギ |
| | | | | | | H | + | ミズヒキ |

表 3 植物群落調査結果 建国記念文庫 北側 出所：環境影響評価書 資料編

伐採と移植は、森の生態系を破壊する意味では同じ行為

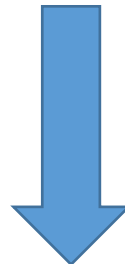


図6 建国記念文庫の森北側の保存緑地断面図

(図中の緑色で表示した高さが正確なもの)



写真1 建国記念文庫の森 北側

常緑落葉広葉樹混交林

真っ二つに分断される常緑落葉広葉樹林

<真っ二つに分断される常緑落葉広葉樹林>

ラグビー場の建設により、この森は、真っ二つに分断されることになります（図7）

- ・スダジイ（毎木調査番号 36、樹高 15m、幹周 201cm、葉張 18m）、写真 2
- ・シラカシ（毎木調査番号 35、樹高 20m、幹周 175cm、葉張 18m）、写真 3
- ・トウカエデ（毎木調査番号 38、樹高 20m、幹周 148cm、葉張 10m）、写真 4

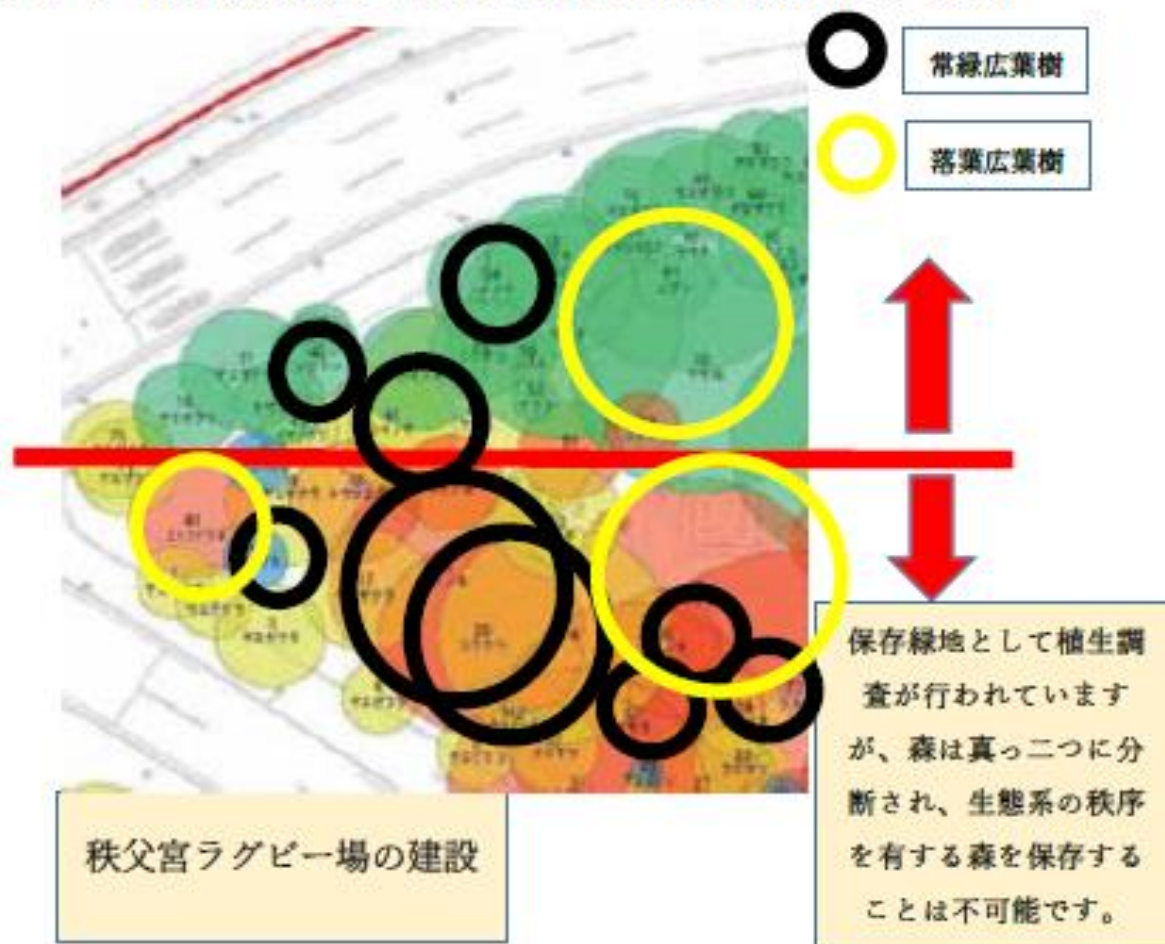


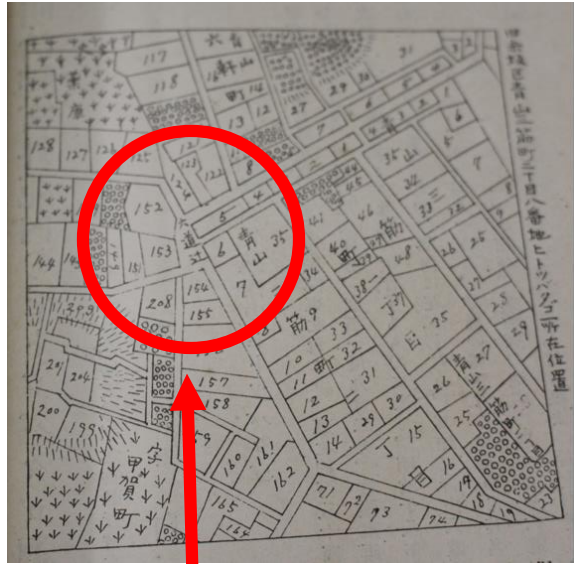
図7 分断、破壊される常緑落葉混交林

神宮外苑 ヒトツバタゴ（なんじゃもんじゃ）物語

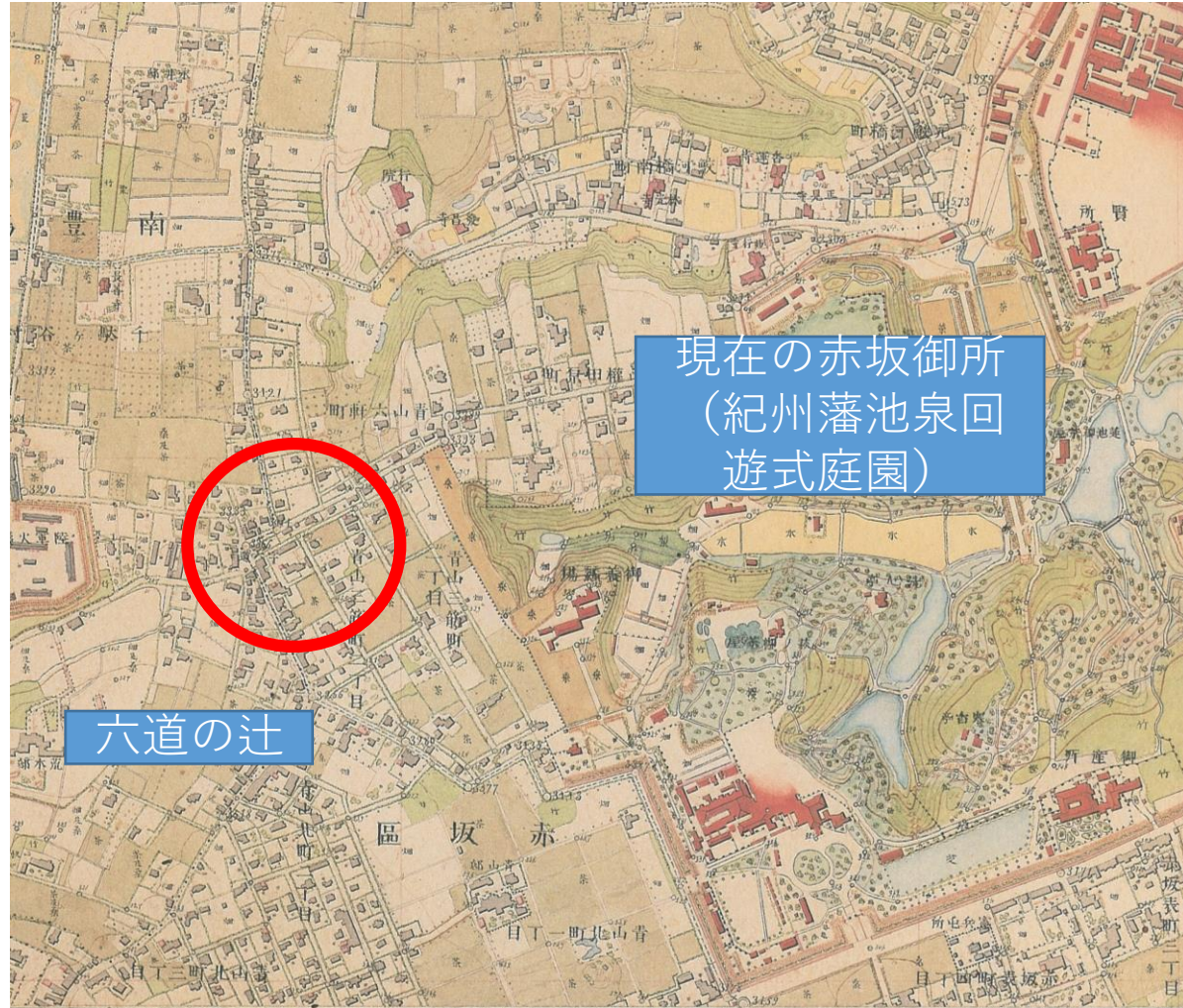


絵画館前 ヒトツバタゴ（三代目）
2023年4月撮影

ヒトツバタゴ（通称ナンジャモンジャ）：別名 「六道木」
旧青山六道の辻の民家に江戸時代からあったと伝えられている。
青山練兵場整備の際、当時の所有者萩原三之助より、金18圓で、買い上げ。
人家取り払い後も、そのまま、御差し置き。



旧青山三筋町2丁目
八番地



現在の赤坂御所
（紀州藩池泉回
遊式庭園）

六道の辻

青山練兵場のヒトツバタゴ 第一世

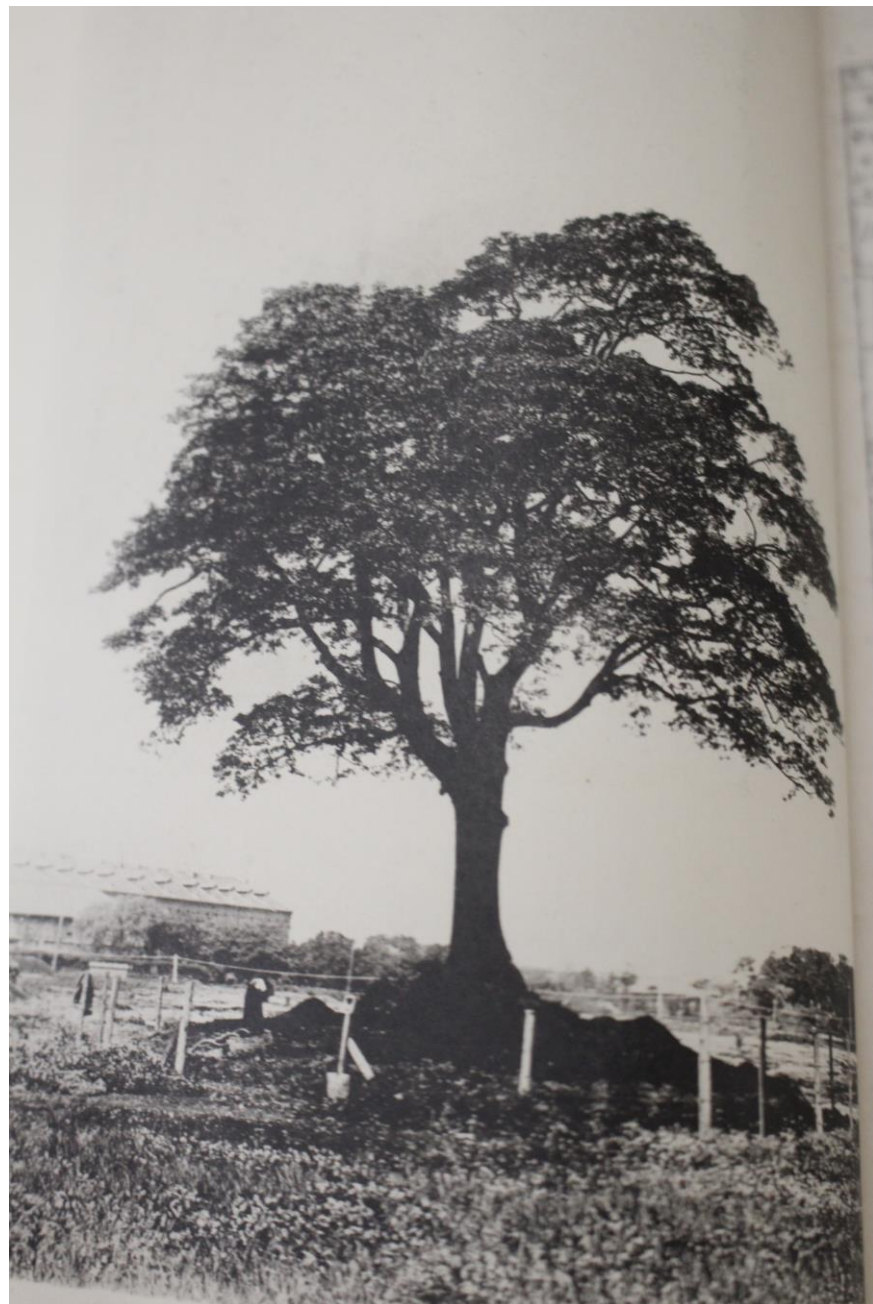
明治36年(1903)に保護要請
大正13年(1924)に天然記念物に指定
昭和8年(1933)に枯死(樹齢百数十年)

樹高：東西(34尺)：約10,3m
周囲(幹周)(6尺04分)：182cm
枝張(36尺6寸)：約11メートル

永井荷風

「日和下駄」(大正3年)

「都下の樹木にして以上の
外なお有名なるは
青山練兵場の
ナンジャモンジャの木」



明治神宮外苑内のヒトツ バタゴ調査報告

史蹟名勝天然記念物調査会委員
白井光太郎

明治36年(1903)に保護要請
大正13年(1924)に天然記念物に
指定

内務省：『天然記念物調査報告
植物之部』 大正15年7月

所蔵：東京大学駒場図書館
第一高等学校図書

天然記念物調査報告

植物之部 (第五輯)

内務省

東京大学
植物園
蔵書印

ヒトツバタゴ

霞ヶ丘門正面に植栽されている



樹齢は推定可能

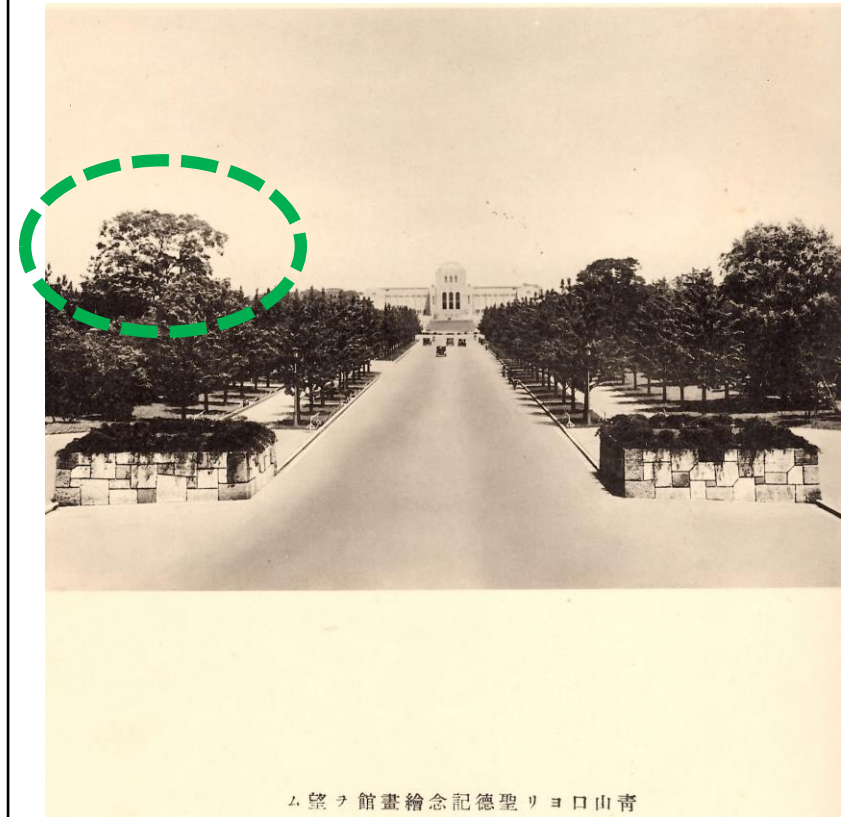


事業者見解
樹齢を確定できる
資料はない

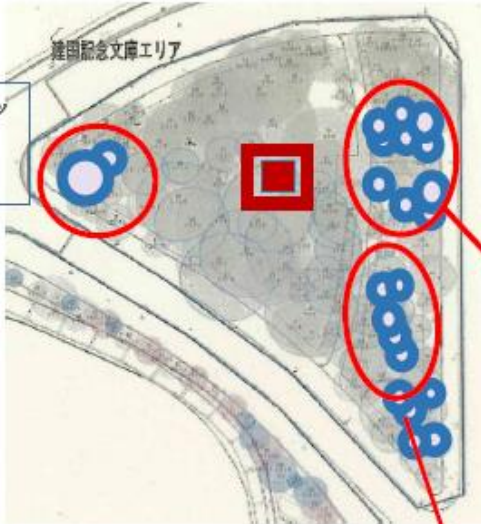


環境アセス書にお
ける完全な欠落
再審が必須

事例：外苑における天然記念物
だったヒトツバタゴ



青山ヨリ聖徳記念繪畫ヲ望ム



重要なヒトツ
バタゴ
要検証

保存されるヒトツバタ
ゴのエリア

ラグビー場の北側とな
り、十分な日照がえあ
れないため、美しい開
花は困難。



写真7 建国記念文庫のヒトツバタゴの森

秩父宮ラグビー場の建設により、破壊さ
れるヒトツバタゴ樹林地。外苑で最大の
ヒトツバタゴ生育地が消滅する。回復、
ミティゲーション等は、評価書に記載さ
れていない。

図9 建国記念文庫におけるヒトツバタゴ（ナンジャモンジャ）の分布

建国記念文庫のヒトツバタゴ2023年11月3日



二世と思われるヒトツバタゴ 外苑で、最も大径木の一つ

樹高：8.0 m
幹周：195 cm
葉張：10.0 m

参考：天然記念物
一世

樹高：東西（34尺）：約10.3m

周囲（幹周）（6尺04分）：
182 cm

枝張（36尺6寸）：約11メートル



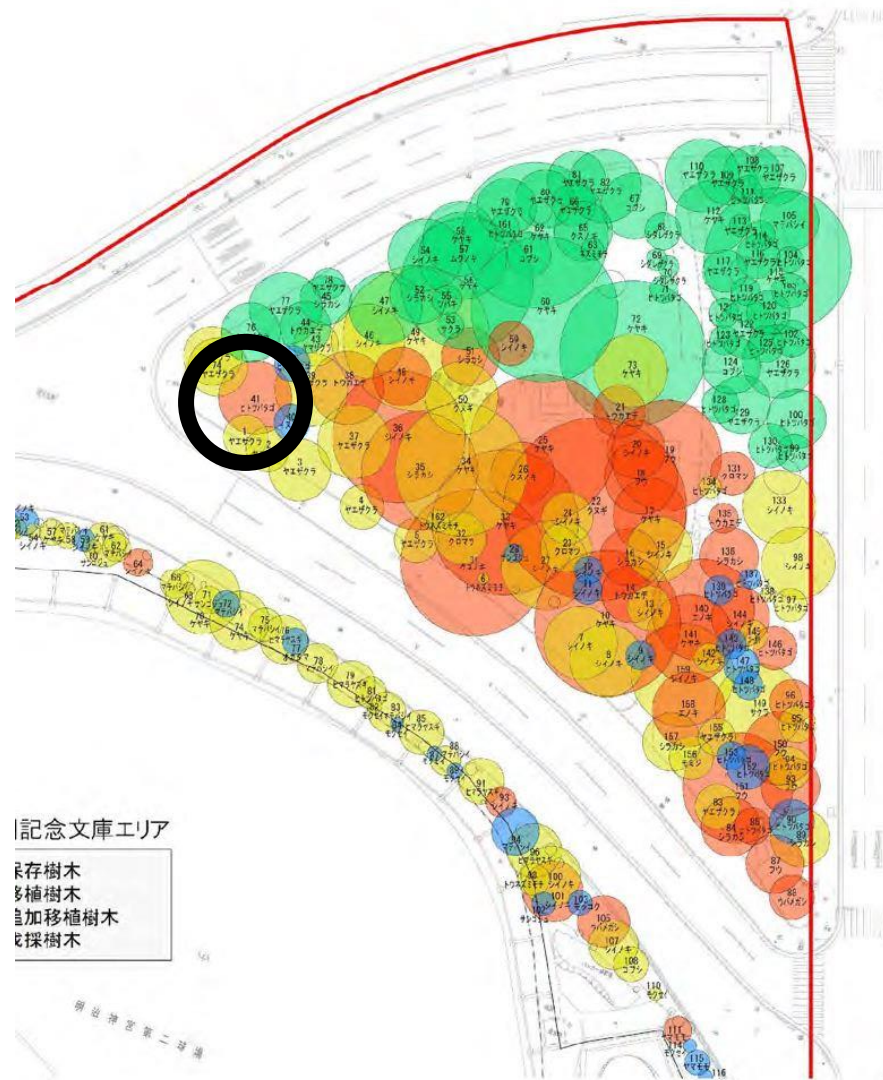
再開発事業 当初 伐採
移植に変更

仮移植先 不明

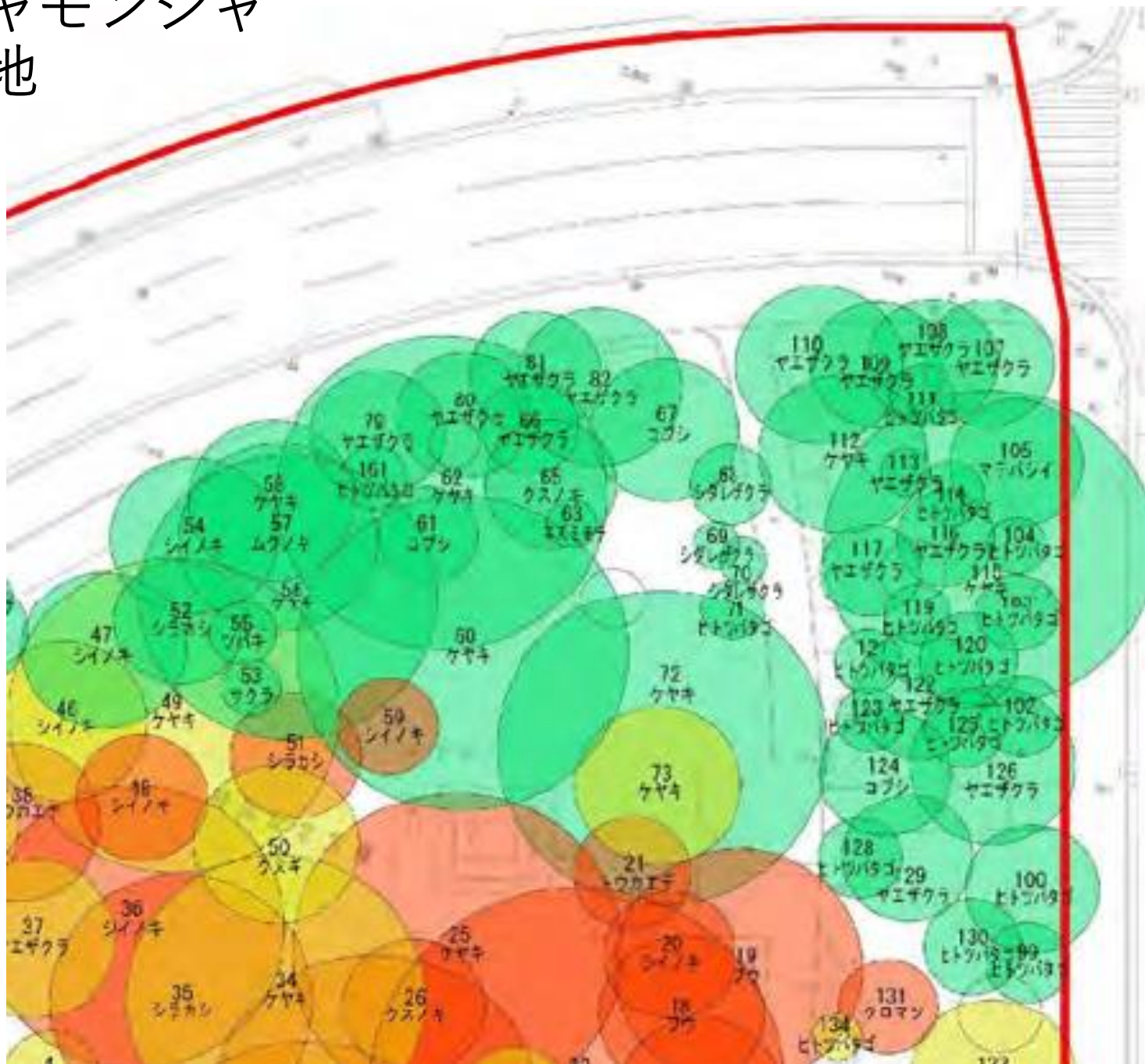
定植位置 明示されていない。

名木の消滅

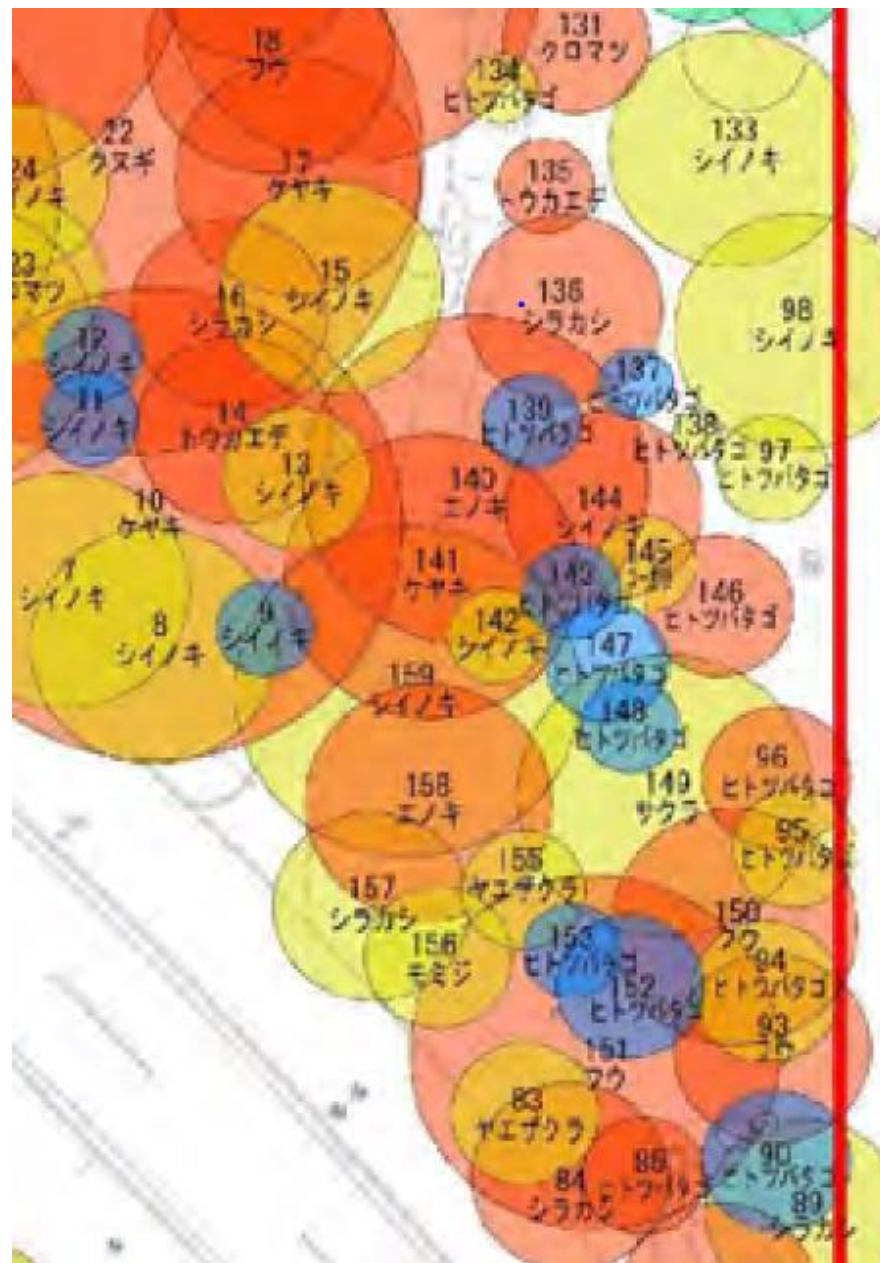
移植による樹勢の劣化は必須
枯死した場合の責任は？



ナンジャモンジャ 保存緑地



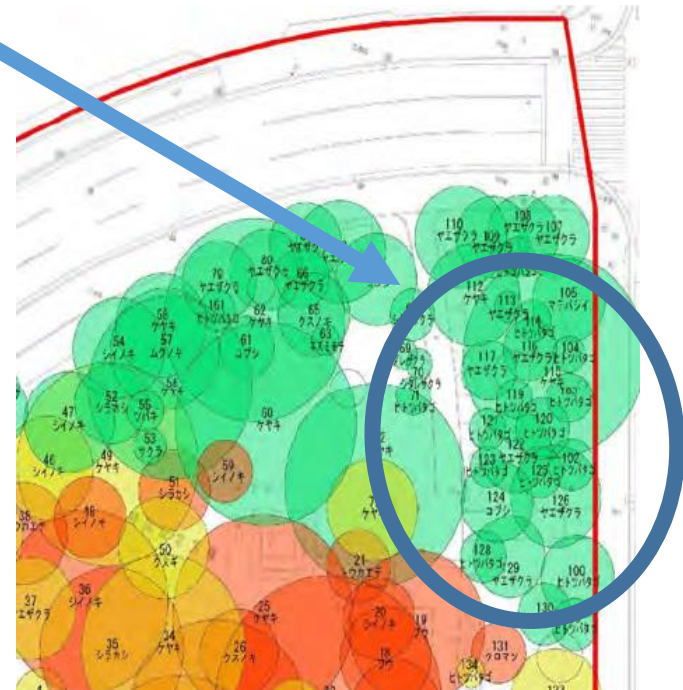
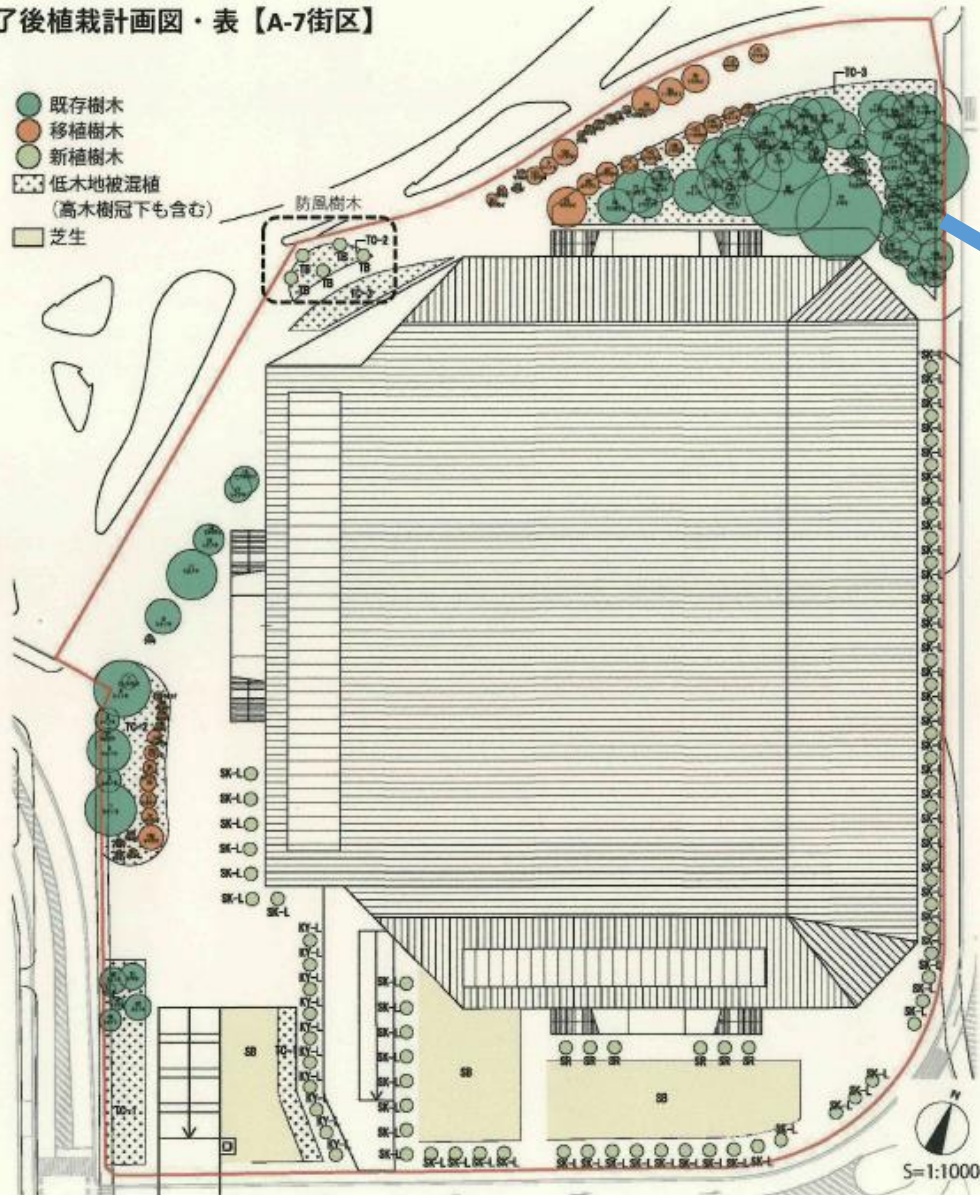
外苑で、最も古くから知られている木



保存されるエリアのヒトツバタゴ：15本
ラグビー場の北側となる。陽光を好むヒトツバタゴには、苛酷な環境

完了後植栽計画図・表【A-7街区】

- 既存樹木
- 移植樹木
- 新植樹木
- ▨ 低木地被混植
(高木樹冠下も含む)
- 芝生



ラグビー場 新旧 比較図

保存されるエリアのヒトツバタゴ：15本
ラグビー場の北側となる。陽光を好むヒトツバタゴには、苛酷な環境

完了後植栽計画図・表【A-7街区】

